

1 調査名称：大館市総合都市交通体系調査

2 調査主体：大館市

3 調査圏域：大館都市圏

4 調査期間：平成30年度～令和元年度

5 調査概要：

本業務は、少子高齢化、人口減少などの社会情勢を背景に、道路の役割や必要性が変化した長期間未整備となっている都市計画道路について、これからの都市計画との整合や事業性の観点等から総合的な検証を行い、大館市が目指す都市構造の実現に向けた見直しを行うことを目的とする。

平成30年度は下記調査を行った。

- ・見直し検討対象路線の選別
- ・見直し検討対象路線の現状把握（交通量調査、カルテ等の作成）
- ・対象路線の評価と候補路線の抽出（必要性・実現性等から総合的に抽出）

I 調査概要

1 調査名称：大館市総合都市交通体系調査

2 報告書目次

序章 業務概要

序-1 業務の目的

序-2 業務概要

序-3 対象路線

序-4 業務のフローチャート

第1章 見直し検討路線の設定

1-1 都市計画道路見直しの背景

1-2 都市計画道路の計画見直しフロー

1-3 見直し検討路線の選定

第2章 見直し検討対象路線の現状把握

2-1 見直し検討路線の基本データ整理

2-2 交通量調査

第3章 対象路線の評価と候補路線の抽出

3-1 見直し検討路線の「必要性」指標の重み付け

3-2 見直し検討路線の「必要性」「実現性」の検討

3-3 見直し候補路線の選定

資料1. 路線評価カルテ

資料2. 交通量調査結果

3 調査体制

なし

4 委員会名簿等：

なし

II 調査成果

1 調査目的

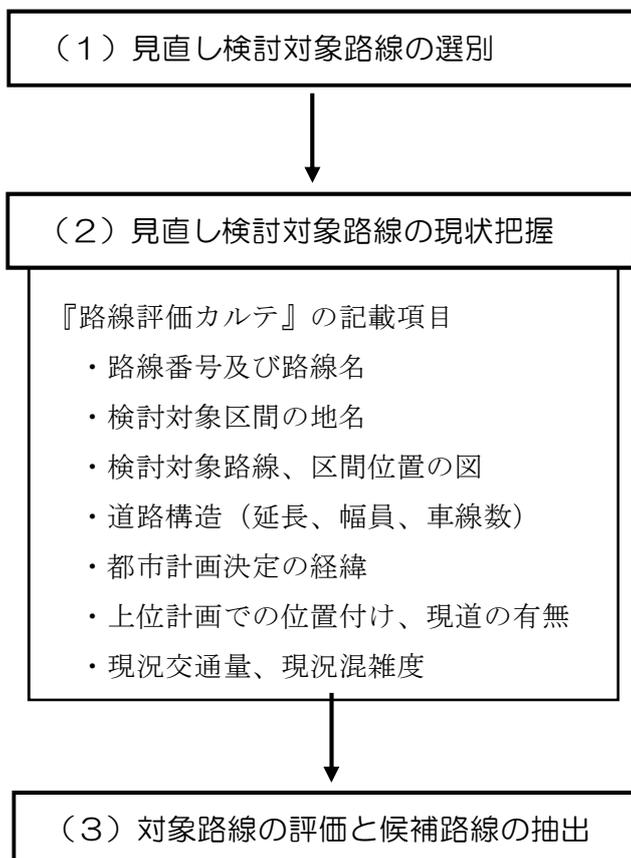
現在の大館市の都市計画道路整備状況は、計画延長 88.57km のうち約 49.34km が改良済みとなっているが、都市計画決定から長期にわたり整備が進んでいない路線もある。

また、平成 29 年度中に日本海沿岸東北自動車道の鷹巣大館道路が全線開通する予定となっており、ネットワークの変化に対応した都市計画道路網を再検証する必要がある。

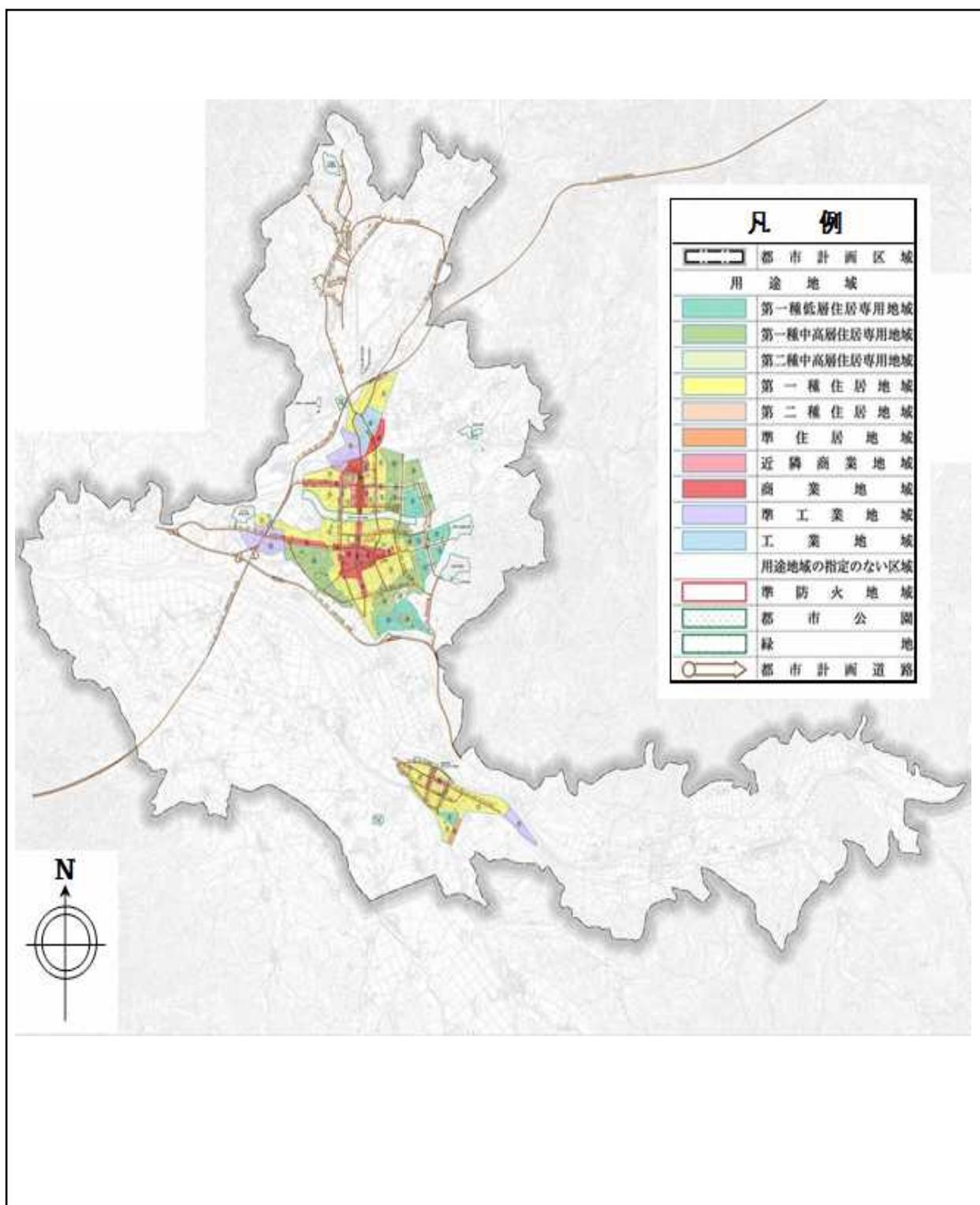
平成 19 年に策定した「大館市都市計画マスタープラン」においても、計画決定から長期間経過している未着手路線や一部未整備路線について必要性や実現性を再検討することとしている。

平成 29 年度より「大館市都市計画マスタープラン見直し」、「立地適正化計画策定」、「地域公共交通網形成計画策定」に着手しており、計画策定と併せて都市計画道路の見直しを行う事により、長期的な視点で持続可能な都市の実現に向けた取組を推進（コンパクト・プラス・ネットワークの推進）するものである。

2 調査フロー



3 調査圏域図



4 調査成果

別紙参照